



超能力ではなく霊覚をもつこと

現在は丁度アトランティスの末期と同じような状況になっています。

宗教団体の中でも特に問題となるのは、背後に霊能力者がいていろんなサイキックな術、つまり霊術を使うところです。こういうのは宗教を研究しているだけでなく色々な霊的なことも研究していて、信者を洗脳する方法にしてもいろんなものを取り入れたり、色々な霊術を使っていますから、だから危険だということです。いいと思ってこちらがその霊術を使うと必ずやられます。霊術の裏に低級霊あり、邪霊あり、サタンあります。逆にやられてこじらせるから、こちらはサイキックなものではなくスピリチュアルなものに目覚めないとだめです。

スピリチュアリズムの基本をマスターすれば、何が正しく何が間違っ

ているか、いいか悪いかの判断が靈感ではなく理性的にわかります。いわゆる霊能——霊視能力とか霊聴能力、カンが働くなどというものはなくていいのです。ふつうの言葉でいうと理性、心霊の上からいうと霊覚というもの、いわゆる奇跡的な現象でなく自おのずから自分の英知から湧いてくるものがあれば、何が正しいのか何が本物かわかるのです。

それにはどうすればいいのかということですが、それは「我^が」を無くすことです。そしてもちろんその人が「人は神」の愛に生きていること、奉仕に生きていること、それからスピリチュアリズムの理論をもっていることです。この二つ、知識とハートがあれば誰でも霊的体質でない人でも皆霊覚を持つようになります。私たちのやっているでくのぼう革命は庶民革命ですから、庶民が皆霊覚を持つようになるということなのです。超能力はタイプによって違いますが、霊覚は要するに魂の問題で

すから誰でも養えるのです。

そうなるには「でくのぼうの生き方」四カ条を実践することです。（編注・本書35頁参照）玄米食をやること、これが基本ですが、その上に人を神として拝むこと、物を自分と違って拝むことを実践することです。今まで我々は神さまだけを、それもご利益のある神さまだけしか拝みませんでした。が人も物も神ですから、これを本当に拝んでごらん下さい。ずっと違ってきます。魂の目が開いてきます。そして人の悪口を言わないこと、人のせいにしないこと、自分をけなさないこと、これは人を拝めるようになったら自然に出来ることです。それを実行できると第一カ条の「わたしはあなた、あなたはわたし」が出来易くなります。それを実行して努力していくのです。そうすると、いわゆる霊覚がどなたでも開けてきます。そうになると、ある種の奇跡的といえる霊通信がジワリとわかって

きます。人のこと世の中のこと、皆当たり前の想念としてわかってくる、そして身のまわりの奇跡が奇跡といわないで自然現象のように、調和ある展開をしていくようになります。性格もいろんなものも変わってきます。「でくのぼうの生き方」四カ条は、まだ注目する人は少ないのですが、これは下の箇条から実践していくと本当に霊覚が開けていきます。これがでくのぼう革命です。そうすると、いろんな宗教にひっかからないし、その間違ったところがすぐ分かります。